

日本の国際化に貢献する

共生社会の担い手を育成

明治学院大学

明治学院大学（東京都港区）は、2017年度の多文化共生ファシリテーターとして、社会学部社会学科・入谷

多様な価値観の理解と共に、外国につながる人々を包摂した共生社会の担い手を目指すものだ。

萌さん、中桐茉奈さん、同学部社会学科・本間優子さん、田中恭来さんの4人を認証。また、多文化共生サポーターとして、社会学部社会学科・

今回の認証が初めてということもあり、同大では4月10日、認証を受けた学生に対して認証授与式を開催した。

「内なる国際化プロジェクト」を発足。多文化共生ファシリテーターおよびサポーターは、そのプロジェクトの

授与式には、認証者のうち3人が出席。授与式では、前・

同大では15年度より、社会学部と教養教育センターが共同でグローバル化を促進する「内なる国際化プロジェクト」を発足。多文化共生ファシリテーターおよびサポーターは、そのプロジェクトの一環として、文化や宗教、民族

北川清一社会学部長と黒川貞生教養教育センター長より認証が手渡され、柘植あづみ社会学部長やプロジェクトに関わる教員たちから祝福の拍手が送られた。松原康雄学長は「この学びを社会に還元して欲しい」と、激励の言葉を伝えた。また、認証を受け取ったある学生は、「就職活動において活用している」と語った。



多文化共生ファシリテーターの認証を受けるには、あらかじめ定められた科目群から12単位以上の修得、さらに「ボランティア実践指導」の単位を修得する必要がある。

認定証を授与された学生たちと祝福するプロジェクトに関わる教員たち

移民問題や人権問題などに対して、鋭い洞察力を持った共生社会を生み出す担い手を育てる明治学院大。今後も、学生が多文化共生ファシリテーターとして活躍できるようにサポートをしていくという。